

<事例>

米田 結(よねだ ゆい)様 生年月日 1936 年 1 月 8 日(88 歳) 介護度 3 特別養護老人ホーム入所中

3 年前に発症した脳梗塞の後遺症で左片麻痺あり。認知症による軽度の記憶障害から、時折失見当識な発言があるが、会話は可能で、日常生活上の意思疎通もなんとか可能。本人や家族の希望で特別養護老人ホーム入所後も、自分のできることは可能な限り自分で行い、安定した生活を送っている。

<米田様の ADL 状況>

移動：左片麻痺にて車イスを常用している。声かけにて促せば、健側の上下肢を使って自操も可能。

移乗：腰部を支えるなど一部介助を行えば可能。

立位・立ち上がり：手すり等を持って 10 秒程は立位保持可能も、脱力等がある為一部介助が必要。

座位：手すり等の支えがあれば安定。

更衣：時間はかかるが、声掛けにて促せばボタンの留め外しや袖通しは可能。

食事：普通食にて嚥下も問題なし。自力摂取可能も、時折食べこぼしが見られる。

認知度：軽度の記憶障害から、時折失見当識な発言あり。

身体状況：脳梗塞後遺症にて左上下肢に麻痺あり。

<問題>

食堂にておやつアイスクリームを召し上がりましたが、食べこぼしがあり、上衣類が汚れていたため、居室にて着替えることになりました。更衣後、本人より「横になりたい」と希望がありました。

下記①と②を実演をしてください。

① **米田さんを居室までご案内し、上衣類の更衣介助(前開きシャツ→前開きシャツ)を行ってください。**

② **車イスからベッドへの移乗介助を行い、臥床対応としてください。**

(注意事項)

◆実技試験の制限時間は 10 分です。◆靴の脱ぎ履きはしなくて OK です。

<試験会場の設置位置>

